令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人三重県文化振興事業団
施設名	三重県総合文化センター　三重県文化会館
内定額	17,601　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	広上淳一指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	4月12日（土）	大ホール
公-02	松本宗利音指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	11月3日（月祝）	大ホール
公-03	第七劇場「ワーニャ伯父さん」	10月4日（土）・5日（日）	小ホール
公-04	三重県文化会館セレクションシリーズ	7月～12月	大ホール
公-05	オンステージコンサートシリーズ	5月～12月	大ホール舞台上
公-06	三重文オリジナルコンサート　高橋ドレミ　ピアノレクチャー＆コンサート	8月9日（土）	中ホール
公-07	三重・宮崎・島根を巡る縁結び旅「この物語」	5月4日（日）・5日（月祝）	小ホール
公-08	MPAD2025	11月12日（水）～22日（土）	県内各所
公-09	老いのプレーパーク四日市市巡回公演	3月14日（土）・15日（日）	あさけプラザ
公-10	国立カナダナショナル管弦楽団	6月5日（木）	大ホール
公-11	キーウ・グランド・バレエ・シアター「眠れる森の美女」	11月30日（日）	大ホール
公-12	チェルフィッチュ「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」	8月9日（土）・10日（日）	小ホール
公-13	to R mansion「走れ☆星の王子メロス」	8月24日（日）	小ホール
人-01	新日本フィル演奏クリニック	6月7日（土）・8日（日）	センター各所
人-02	三重ジュニア管弦楽団育成事業	通年	センター各所
人-03	出張戯曲アカデミアinハイスクール	1月～2月	県内各所
普-01	新日本フィル29市町巡回事業in南伊勢町＆度会町	6月～2月	南伊勢町・度会町各所
普-02	なりかわり標本会議	7月～1月	県内各所

（2）〔基礎データ〕

※　交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※　実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	67	60	61
	公演事業	35	35	29
	（内、本助成対象事業本数）	19	12	13
	人材養成事業	9	8	10
	（内、本助成対象事業本数）	0	0	3
	普及啓発事業	12	12	11
	（内、本助成対象事業本数）	2	3	2
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　共催事業	11	5	11

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	665	694	484
	ホール名：大ホール　座席数：1903	211	219	145
	ホール名：中ホール　座席数：968	250	258	187
	ホール名：小ホール　座席数：322	204	217	152
	ホール名：　座席数：			
	ホール名：　座席数：			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	34,109	37,453	34,672
	公演事業	20,415	22,317	19,316
	人材養成事業	8,897	10,086	8,906
	普及啓発事業	4,797	5,050	6,450
	共生社会事業			
	その他　内容：	0	0	0
	貸館事業入場者・参加者数	157,142	138,952	168,099
	その他　内容：共催事業	10,297	4,080	10,006
	計	201,548	180,485	212,777
開館日数		309	307	229
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		309	307	229
施設の利用日数		309	307	229
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		100.0%	100.0%	100.0%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	35	54	20,415	6	26	2	1			
	共催・提携公演（※2）	11	12	10,297	3	5	1	1			1
	貸館公演	258	263	157,142	14	122	6	2	5	18	91
	計	304	329	187,854							
令和6年度	主催公演（※1）	35	56	22,317	8	25	1	1			
	共催・提携公演（※2）	5	6	4,080	2	3					
	貸館公演	240	264	138,952	11	126	7	3	6	13	74
	計	280	326	165,349							
令和7年度	主催公演（※1）	29	52	19,316	6	21	1	1			
	共催・提携公演（※2）	11	18	10,006	4	5	2				
	貸館公演	189	203	168,099	9	92	4	2	3	11	68
	計	229	273	197,421							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の 設定席数（実績値） 合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	広上淳一指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,000	70.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	78.5%
		実績値	1,000	70.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	98.8%
公-02	松本宗利音指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	857	60.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	74.4%
		実績値	960	67.2%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	99.0%
公-03	第七劇場「ワーニャ伯父さん」	目標値	273	70.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	62.4%
		実績値	305	78.2%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	96.3%
公-04	三重県文化会館セレクションシリーズ	目標値	1,860	53.3%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	84.8%
		実績値	3,763	107.8%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	99.6%
公-05	オンステージコンサートシリーズ	目標値	288	80.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	87.8%
		実績値	341	94.7%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	99.4%
公-06	三重文オリジナルコンサート　高橋ドレミ　ピアノレクチャー＆コンサート	目標値	120	80.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	61.1%
		実績値	135	90.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	90.7%
公-07	三重・宮崎・島根を巡る縁結び旅「この物語」	目標値	390	65.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	92.5%
		実績値	360	63.7%	共同制作館による事業評価	ヒアリングで概ね高評価を得る	ヒアリングで概ね高評価を得た

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-08	MPAD2025	目標値	288	73.8%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	74.9%
		実績値	430	105.9%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	98.8%
公-09	老いのプレーパーク四日市市巡回公演	目標値	240	80.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	96.0%
		実績値	516	164.0%	四日市市による事業評価	ヒアリングで概ね高評価を得る	ヒアリングで概ね高評価を得た
公-10	国立カナダナショナル管弦楽団	目標値	429	30.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	81.2%
		実績値	500	34.9%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	98.7%
公-11	キーウ・グランド・バレエ・シアター「眠れる森の美女」	目標値	852	75.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	69.8%
		実績値	983	86.5%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	97.8%
公-12	チェルフィッチュ「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」	目標値	210	70.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	78.6%
		実績値	204	68.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	95%	98.4%
公-13	to R mansion「走れ☆星の王子メロス」	目標値	255	85.0%	顧客満足度（5段階評価上位1位）	60%	87.0%
		実績値	331	110.3%	顧客満足度（5段階評価上位1位＋2位）	90%	98.6%
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人三重県文化振興事業団
施設名	三重県総合文化センター　三重県文化会館
内定額	17,601　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等)」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	広上淳一指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	拠点契約を結ぶ新日本フィルの三重定期公演は、入場者率、満足度ともに目標を達成した。
公-02	松本宗利音指揮　新日本フィルハーモニー交響楽団	拠点契約を結ぶ新日本フィルの三重定期公演は、入場者率、満足度ともに目標を達成した。
公-03	第七劇場「ワーニャ伯父さん」	準フランチャイズカンパニーのプロデュース公演は、入場者率、満足度ともに目標を達成した。
公-04	三重県文化会館セレクションシリーズ	「石田組」をはじめシリーズ 3 公演ともに大入りとなり、入場者数は計画のほぼ 2 倍となる大成功であった。満足度も目標を達成した。
公-05	オンステージコンサートシリーズ	極上のサロンコンサートとして人気が定着したことで 2 公演ともほぼ完売となり、入場者数、満足度ともに目標を大きく上回る成功であった。
公-06	三重文オリジナルコンサート　高橋ドレミ　ピアノレクチャー＆コンサート	オリジナルプロデュースの親子向け公演は入場者数、満足度ともに目標を達成した。
公-07	三重･宮崎･島根を巡る縁結び旅「この物語」	3 劇場共同制作の新作公演は入場者数が目標をやや下回ったものの、満足度は目標を達成した。
公-08	ＭＰＡＤ２０２５	ブランド化された人気のアウトリーチ事業は、入場者数、満足度ともに目標を大きく上回った。
公-09	老いのプレーパーク四日市市巡回公演	初の四日市市公演は、入場者数が目標の 2 倍を超え、満足度も目標を大きく上回る大成功となった。共催先の四日市市からも高い評価を得た。

公-10	国立カナダナショナル管弦楽団	平日夜公演ということで予め入場予測を低く設定していたため、入場者率、満足度ともに目標を達成した。
公-11	キーウ・グランド・バレエ・シアター「眠れる森の美女」	バレエ教室の団体購入もあり、入場者率、満足度ともに目標を達成した。
公-12	チェルフィッチュ「宇宙船イン・ビトゥイーン号の窓」	入場者数は目標をやや下回ったものの、満足度は目標を達成した。
公-13	t o　R mansion「走れ☆星の王子メロス」	夏休みの親子向け演劇公演として家族向けのＰＲが功を奏し、入場者数、満足度ともに目標を大きく上回った。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業	①劇場友の会（シアターメイツ）会員数 ②シリーズ・ブランド事業参加者数（公-04,05,08） ③３県連携事業の連携劇場・アーティストからの評価（公-07） ④レジデント・拠点アーティスト公演満足度（公-01,02,03）	①2,017 人 ②2,928 人 ③ヒアリングで概ね高評価を得る ④5 段階評価上位１位＋2 位　95%	①2,039 人 ②4,534 人 ③高評価を得た。 ④98.5%
人材養成事業	①全事業の参加者数 ②全事業の参加者満足度	①350 人 ②5 段階評価上位１位＋2 位　90%	①1,409 人 ②98.9%
普及啓発事業	①全事業の参加者数 ②全事業の参加者満足度	①570 人 ②5 段階評価上位１位＋2 位　90%	①1,955 人 ②96.9%
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	劇場友の会（シアターメイツ）会員数は会員の高齢化が進む中、新規会員獲得に成功し、目標を達成する微増となった。 シリーズ・ブランド事業参加者数はセレクションＳ（公-04）、オンステージＳ（公-05）、ＭＰＡＤ（公-08）の全ての事業で目標を大きく上回ることができた。回を重ねても人気に衰えはなく、当館のシリーズ事業がブランド化され、県民に信頼されている。 地域劇場連携（公-07）では連携劇場から共同制作幹事館として高い評価を得たほか、永山智行氏、鳴海康平氏、西藤将人氏らアーティストからも円滑な事業運営に高評価を得た。 新日本フィル（公-01、02）、第七劇場（公-03）のレジデント・拠点アーティスト公演の満足度も目標を達成した。

人材養成事業	
自己評価	会館工事閉館期間に三重ジュニア管弦楽団（人-02）の地域演奏活動を積極的に県内展開したことから、事業参加者数は目標を大きく上回った。参加者満足度も全ての事業で高評価を得た。

普及啓発事業	
自己評価	新日本フィル 29 市町巡回事業（普-01）では 3 クールに分けて多彩なプログラムを実施し、参加者数は目標を大きく上回った。なりかわり標本会議（普-02）では学校や多様なコミュニティから想定を上回る開催依頼があり、参加者数は目標を大きく上回った。いずれの事業も参加者満足度も高かった。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
①社会課題アウトリーチプログラム参加者満足度（公-09、普-01、普-02） ②社会課題アウトリーチプログラム参加者数（同上） ③地域連携自治体の評価（四日市市、南伊勢町、度会町） ④地域連携団体の評価（三重県高等学校演劇連盟） ⑤子ども向け公演、人材養成事業参加者数（公-06、公-13、人-01、人-02、人-03） ⑥施設利用サービス満足度	①5 段階評価上位 1 位＋2 位　90% ②810 人 ③ヒアリングで概ね高評価を得る ④ヒアリングで概ね高評価を得る ⑤700 人 ⑥75%	①96.7% ②2,471 人 ③高い評価を得た ④高い評価を得た ⑤1,875 人 ⑥92.5%

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	社会課題アウトリーチプログラムは、老いのプレーパーク四日市公演（公-09）、新日本フィル 29 市町巡回事業（普-01）、なりかわり標本会議（普-02）の全ての事業で参加者数、満足度ともに目標を大きく上回った。また共催、連携した四日市市、南伊勢町、度会町からも事業の成功に高い評価を得た。 子ども向け公演や人材養成事業は近時力を入れている分野であり、親子向け音楽・演劇公演（公-06、13）、新日本フィル演奏クリニック（人-01）、三重ジュニア管弦楽団（人-02）、出張戯曲アカデミア（人-03）の全ての事業が順調に終了した。 施設利用満足度も目標を大きく上回ることができた。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
①キャンパスシート利用者数　※25歳以下限定割引サービス ②英字・点字プログラム配布公演数 ③未就学児入場可能公演数 ④託児サービス付き公演数	①50 人 ②6 公演 ③2 公演 ④16 公演	①49 人 ②6 公演 ③2 公演 ④16 公演

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	キャンパスシート対象公演を増やしオーケストラ、バレエ、伝統芸能の年間 6 本に設定し、イベントカレンダーや公演チラシで広報展開を図った。目標 50 人に対して 49 人であった。 英字・点字プログラム配布公演数、未就学児入場可能公演数、託児サービス付き公演数は計画通り実施した。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	・ ・ ・

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

1）演劇共同制作の好事例
演劇公演「この物語（公-07)」では当館が幹事劇場となり、宮崎県三股町、島根県出雲市と共同制作することとなったが、当初は脚本家（永山智行）と演出家（鳴海康平）のアーティスト側から当館に発案された企画であった。「高校生が観る、高校演劇の参考になる芝居を上演したい」という出発点から、３つの地域のアーティスト、高等学校演劇連盟、そして劇場が手を組み共同制作するというスキームまで飛躍できたのは、各地域のアーティストが現地の整理役を担ったことが大きかった。宮崎では永山氏が、三重では鳴海氏が、島根では西藤氏がそれぞれの地域の高等学校演劇連盟、劇場と対話を重ねることで、今まで共同制作の実績がほぼなかった三股町と出雲市との連携が実現した。

2）市町連携事業の好事例
老いのプレーパーク四日市市巡回公演（公-09）では、従来の出張公演型から「出張公演＋現地制作公演」の２本立て公演に変更し、オーディションキャストによる現地制作に挑戦した。現地オーディションから稽古、本番まで、四日市市文化会館のこの事業への共通理解と全面的な協力により実現した公演は、入場者数は目標を大きく上回り、満足度も極めて高かった。現地制作は稽古から本番まで現地の関係人口や熱量を生み出すことに効果的であり、将来的にもまた挑戦してみたい制作手法だと感じた。

3）市町連携事業の好事例
新日本フィル 29 市町巡回事業（普-01）では、南伊勢町＆度会町と連携し 3 クールで実施したが、地元の歓迎ぶりがすごく、コンサート終演後の喜びの声、感謝の声も多数寄せられている。当館が成功のために留意しているのは、①地元のやりたいこと、やりたい場所で演奏会や技術指導を企画する、②町長や教育長をはじめ、地元キーマンと事業への共通理解を図る、③全戸チラシ配布など現地広報の徹底、の 3 点であり、丁寧なコーディネートにより当事業の成功へとつながっている。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	【令和6年度実績】 ①事業収入¥53,010,806- ②ファンドレイズ（文化庁助成除き）¥13,274,000-	【令和6年度実績】 ①シアターメイツ（有料劇場会員）2,017人 ②エムズネット（無料ネット会員）9,157人
目標(値)（※2）	①¥32,811,750- ②¥11,500,000-	①2,017人 ②10,000人
実績(値)	①¥44,235,790- ②¥11,500,000-	①2,039人 ②11,042人
団体の自己評価	完売公演が続き、事業収入は目標を大きく上回った。	劇場の安定顧客の指標はいずれも目標を達成した。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	【令和 6 年度実績】 ①市町連携・助成支援数 16 件 ②全国劇場連携事業数 2 件	四半期ごとの事業報告会議開催
目標(値)（※2）	①14 件 ②1 件	現状まま
実績(値)	①14 件 ②1 件	現状まま
団体の自己評価	いなべ市、紀北町、南伊勢町、度会町、四日市市と多くの市町と共催・連携ができた。	設置者と情報共有、意思疎通が継続的に図られている。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	館長・梶吉宏が芸術監督の役割を兼ねている。	館長・梶吉宏及び副館長・松浦茂之が経営実務者を兼ねている。
目標(値)（※2）	現状まま	現状まま
実績(値)	現状まま	現状まま
団体の自己評価	館長就任 24 年間に及び、安定している。	館長就任 24 年間、副館長着任 18 年間に及び、安定している。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	館長、副館長のほか、音楽専門人材 2 名、演劇専門人材 2 名を配置している。	整理され、役割分担されている。
目標(値)（※2）	現状まま	現状まま
実績(値)	音楽専門人材が 1 名追加された。	現状まま
団体の自己評価	音楽専門人材が追加され、より強固なチームとなっている。	明確に整理、役割分担されている。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	最年少が 22 歳で、20 歳代 3 名在籍	財団全体で課長以上の管理職 13 名中女性が 5 名（比率 38.4%）
目標(値)（※2）	現状まま	現状まま
実績(値)	最年少が 23 歳で、20 歳代 3 名在籍	財団全体で課長以上の管理職 14 名中女性が 6 名（比率 42.9%）
団体の自己評価	財団全体で新たに 5 名の新規採用があり、若年層雇用が促進されている。	新たに女性管理職が 1 名増えた。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	整備し、推進している。	コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
目標(値)（※2）	現状まま	現状まま
実績(値)	現状まま	現状まま
団体の自己評価	該当職員が育児休暇や短時間労働制を取り入れている。	財団全体で各種コンプライアンス研修が開催されている。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメント防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	交わしている。
目標(値)（※2）	現状まま	現状まま
実績(値)	現状まま	現状まま
団体の自己評価	財団全体で各種ハラスメント研修が開催されている。	契約事務は適正である。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
当館が立てた3つのビジョンに対し、多彩で魅力的な事業プログラムを立案し、そのほぼ全ての事業プログラムで想定以上の成果が得られたと考えている。 【ビジョン①社会課題への対応を加速】 超高齢社会と介護問題に焦点を当てた「老いのプレーパーク四日市市巡回公演（公-09）」、教育や観光とコラボした「新日本フィル29市町巡回事業in南伊勢町＆度会町（普-01）」、教育や地域コミュニティに入り込んだ「なりかわり標本会議（普-02）」と、全ての事業で参加者は計画を大きく上回り、参加者満足度も極めて高かった。共催、連携した市町の評価も高く、県内各地で大きなインパクトを生み出すことに成功している。 【ビジョン②劇場に再び賑わいを】 ブランド化されたシリーズ事業（セレクションS（公-04）、オンステージS（公-05）、ＭＰＡＤ（公-08））をはじめとする独自色の強い企画と、拠点・レジデントカンパニー公演（公-01、02、03）や親子向け公演（公-06、13）など多彩な事業プログラムを計画通り実施し、ほぼすべての事業で目標を上回る入場者数と高い満足度を達成することができた。 ホール公演の年間入場率は88%を記録し、コロナ禍以降の落ち込みから回復した昨年度（83%）から更に上昇している。また主催事業の活性化に伴い施設稼働率も順調に上昇しており、年間稼働率は73.8%を記録し劇場に再び活況が蘇っている。 【ビジョン③リーディングホールの役割発揮】 地域連携事業では四日市市や南伊勢町、度会町との共催事業をはじめ、「ＭＰＡＤ（公-08）」「なりかわり標本会議（普-02）」の県内事業展開において、リーディングホールとしての役割を発揮できた。

備考